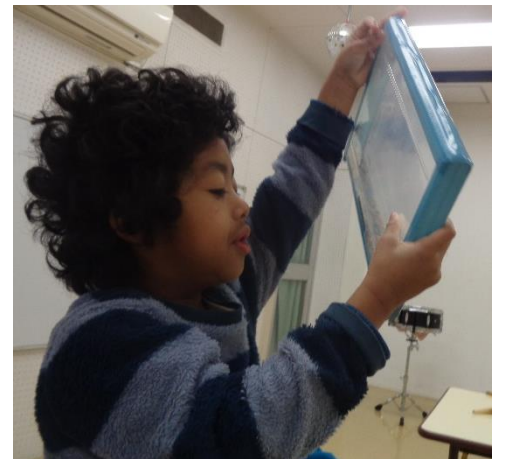


なげてならして♪ ゆらしてならして♪

ねらい(幼児の目標)

- ・投げて遊ぶことを通して、自分が投げたことで音が鳴ったことに気付く。
- ・揺らして音を出したり、カラーライスの動きを見て楽しむ。



【作り方】

①なげてならして (鈴)

- ・お風呂用スポンジに糸で鈴を付けました。

②ゆらしてならして (オーシャンドラム)

- ・書類ケースの中に食紅で着色したお米とおはじきを入れました。

- ・まだ既成の楽器を鳴らして遊ぶことが難しい幼児も、音を楽しんだり楽器に親しむきっかけになるように作りました。
- ・手で持つ楽器のサイズだと、思わず投げてしまう幼児児童も楽しむことができます。
- ・書類ケースの中に入れるものは、違う遊びの場面で幼児が楽しんでいた、カラーライスとおはじきを入れました。

材料

お風呂用スポンジ、鈴、書類ケース、カラーガムテープ、食紅、お米、おはじき

組み立てよう～料理を作ろう～

ねらい

- ・食べ物や動物の名前、動きを表す言葉を知る。
- ・見本の写真を見て、必要なパーツが分かって組み立てる。



【教材を作る際の配慮点】

- ・本児が興味・関心をもって取り組めるように、本児の好みのごっこ遊びができるおもちゃ消しゴムを使用した。
- ・写真を見てパーツを選ぶときに、注目してほしい箇所のみを映したり、画像を拡大したりできるようにタブレット端末を使用した。

【使い方】

- ①完成写真を見せながら、食べ物や動物の名前を問い掛ける。
- ②パーツの写真を見て、必要な物を選ぶことを伝える。
- ③完成写真を見ながら、組み立てることを伝える。
- ④完成した物を使い、簡単にごっこ遊びをする。

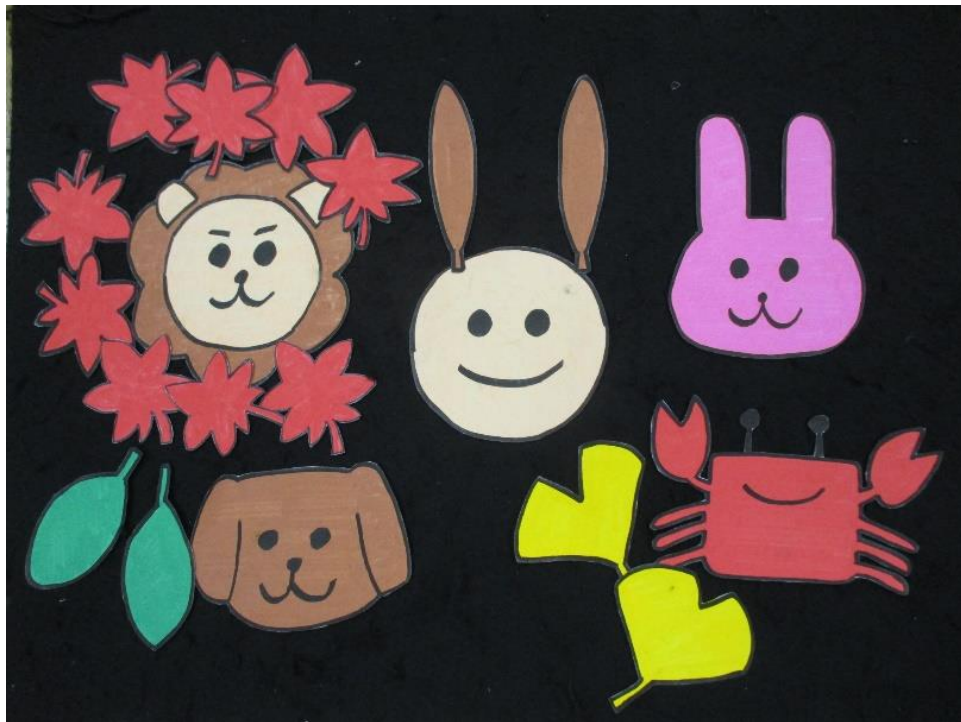


材料：おもちゃ消しゴム、タブレット端末

おちばのパネルシアター

ねらい(幼児の目標)

- ・「ひらひらおちば」の歌に気付く。
- ・様々な葉の形と、身近な生き物の見立てに気付く。



教材を作る際の配慮点

- ・葉の形をはっきりと書き分ける。
- ・幼児の目に留まるよう、大きめに作る。



使い方

- ・葉をひらひらと動かして、幼児の目を引くようにする。
- ・「ぴょんぴょん」、「がー」など、生き物を想像できるように言葉掛けをする。

材料:Pペーパー、ポスカ

1、2、3 ぴょーん！

ねらい(幼児の目標)

- ・教師と一緒に、物を操作して遊ぶことを楽しむ。
- ・教師の掛け声に合わせて、物を操作する。



・教材を作る際の配慮点

物を操作して遊びたいと思えるように、幼児の顔写真を使用したり、身近な物をテーマに使用したりする。

・使い方

幼児の動きに合わせて、教師が掛け声を掛けて一緒に遊んだり、教師が「1、2、3 ぴょーん。」などの言葉を掛けながら人形を操作したりする。

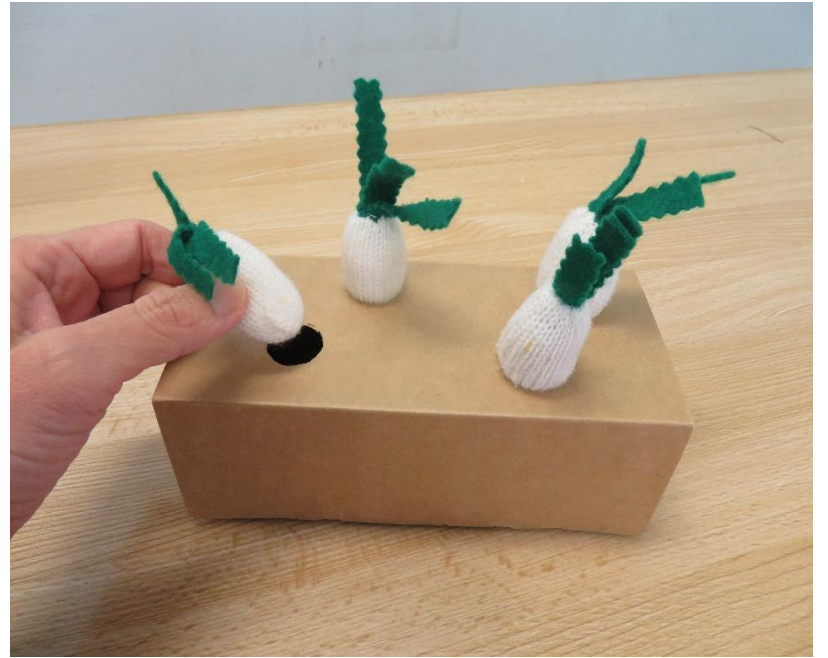
材料

箱(大・小)、画用紙、ペットボトルキャップ、イラストや幼児の顔写真

おやさいがぬ・け・た！

ねらい(幼児の目標)

- ・親指と人差し指で野菜をつまんで抜く。
- ・教師が伝えた野菜を抜いたり、教師や人形の口元に運んだりしてやり取りをする。



教材を作る際の配慮点

- ・軍手の指の部分を利用することからできあがる野菜のサイズが異なる。できあがった野菜の大きさと幼児の実態に合わせて抜くときの負荷を考え、畑の穴のサイズを調整する。
- ・葉の部分をつまんだり引っ張ったりすることもあるのでしっかりと縫い付ける。
- ・畑にした箱は、空箱ののりしろ部分を剥がし一度解体し、表裏を入れ替え、組み立て直し利用した。

使い方①

- ・野菜を親指と人差し指でつまみ、野菜を抜く。
- ・抜く際には教師が「よいしょ。」や「すっぽーん。」など、抜くことが楽しめるような言葉掛けをする。

使い方②

- ・教師が「人参ください。」やパペットを使って「大根食べたいな。」など言ったりして口に近付けたり入れたりするなどのやり取りをして遊ぶ。

材料

軍手、綿、フェルト、紐、箱

ぐるぐるジュースを作ろう

ねらい(幼児の目標)

- ・物を操作し、身近な絵本の再現遊びを行う。
- ・果物の名称や「ぐるぐる」、「ぽん」など動きを表す言葉を知る。



✂ 台紙を二重にしたり、切込みを入れたりし、めくることができるようにする。
✂ 皮付きの果物をめくると、皮をむいた果物が現れるようにする。
✂ 皮をむいた果物は、取り外せるようにし、ミキサーに見立てた丸い枠に入れるまねができるようにする。



✂ 絵本のサイズと合わせるとよい。
◎子供たちからは、絵本のページと見比べて、果物の向きをそろえて貼り付けて遊ぶ様子が見られた。



✂ 果物を全て貼り付けて裏返すと、ミックスジュースが完成する仕組みになっている。
◎子供たちからは、合わせて作成した牛乳の教材を注ぐまねをしたり、丸い枠を回したりするなどして遊ぶ様子が見られた。

材料

マジックテープ、絵具、ペットボトルなど



クリスマスツリーを描こう

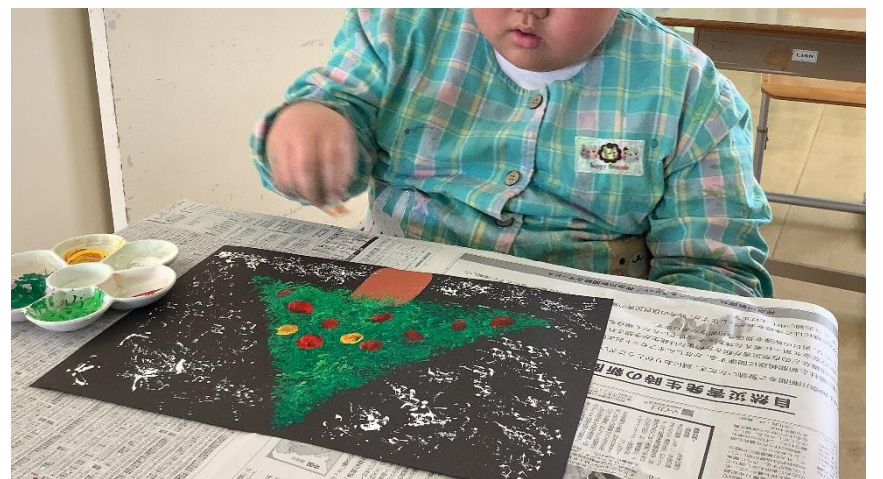
ねらい

- ・クリスマスツリーを描く。
- ・葉や雪の模様を表現する。



【使い方】

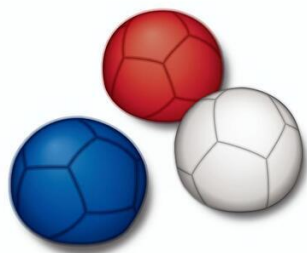
- ・ストローの先をタコ足に切り、絵の具を付けて描きます。
- ・ツリーの飾りは丸い物でスタンプします。
- ・トップスターは星形の型を作り、スタンプ台で押します。



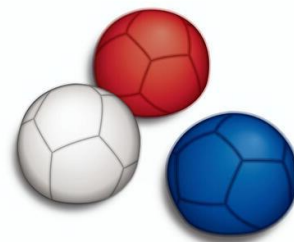
材料

ストロー、丸い木片、ラミネートを星形に切った型、画用紙(黒)、絵の具、スタンプ台(金色)





ねらって、ポン！



ねらい

- ・ルールを理解し、狙ったところにボールを投げるができる。
- ・狙う場所を考えてボールを投げたり、勝敗を受けてその気持ちを伝えることができる。
- ・ルールを守り、得点が決まったときには友達と喜び合うことができる。

用具の設置



- ・円形の人工芝を敷く。
- ・真ん中にジャックボールを置く。
- ・ペットボトルでバリケードを作る。
※実態に応じて隙間を作ったり、
本数を変更して難易度を変える。

試合の様子



- ・投げる距離は、投げる前に3mまたは4mを自己選択する。

ルール

- ・赤チーム、青チームに分かれる。
- ・1投ずつ、交互に投げる。
- ・全員が投げ終わったら得点を数える。
※緑の芝の上に残っているボールが点数になる。
※ジャックボール(白)に1番近いボールは、
ジャックボールを加算する。
- ・得点表に得点を貼り、結果発表をする。



相手のボールを押し出そうとしたり、
投げ方を変えたり、回数を重ねると
工夫が見られるようになります。

点数を数えている様子



材料：ボッチャのボール、人工芝、ペットボトル(1L)
算数の実態に応じて、分かりやすい得点板

形で分けよう！

まる・さんかく・しかく

- 【ねらい】
- ・色に捉われることなく、形に注目する。
 - ・形の名称を知り、手元を見たり、道具を使ったりしながら、形の違いに気付いて、分ける。



- ・あえてカラフルな教材を用いることで、より形に注目して取り組むことができるようにした。
- ・「全て入れるとおしまい」といったように、終わが分かり、進んで取り組めるように透明の容器を用いた。

型はめパズルや、色の分別ができる段階の児童が、色に捉われることなく形に注目したり、形の名称の学習をしたりできる教材となるように制作した。



【材料】 お盆、トング、トレー、筒、ビニールテープ、形カード、カラー積み木、

ごはんを あーん

【ねらい】

- ・補助箸の持ち方につながる動き(つかむ)の操作をする。

【配慮点】

- ・様々な力の入れ方ができるように、食べ物素材や形を変えました。



【使い方】

- ・好きな動物の口に、箸やトングで食べ物を入れてご飯をあげます。



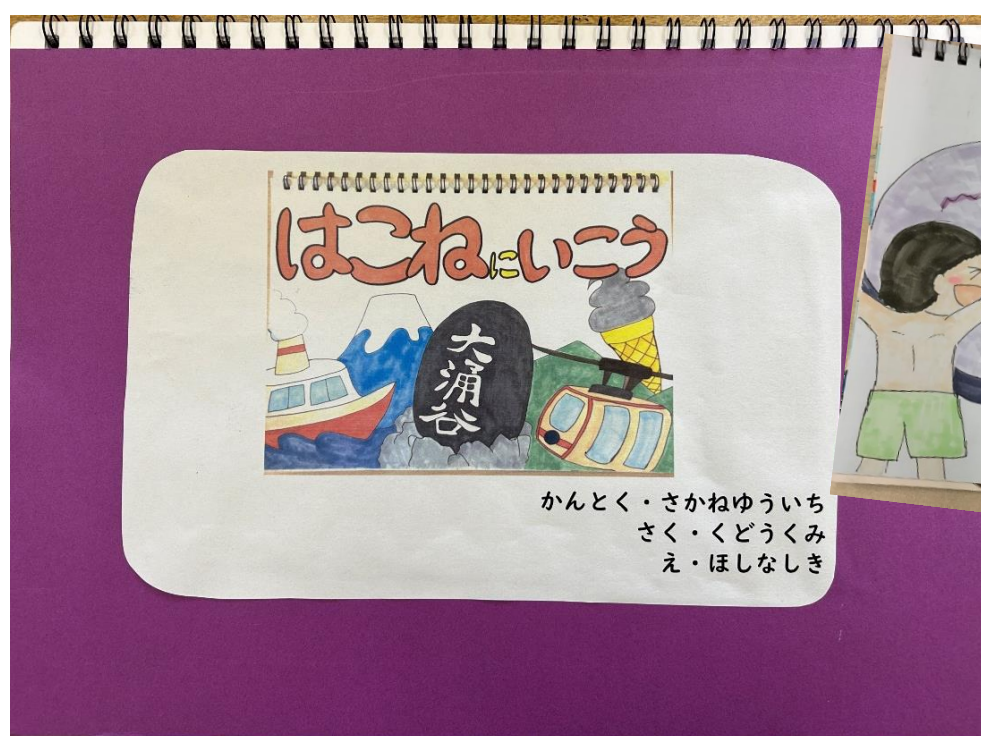
材料

蓋付き容器、トング、菜箸、紙粘土、スポンジ、画用紙

絵本「はこねにいこう」

ねらい

- ・絵本の読み聞かせを通して、箱根の修学旅行の行程を理解し、見通しをもてるようにする。



- ・生活単元学習「修学旅行に行こう」の導入の授業で使いました。
- ・これから修学旅行で体験する行程が、絵本のストーリーになっているので、児童は修学旅行の見通しをもって安心して、初めての活動を体験することにつながりました。



- ・絵本の台本作り、絵コンテ作り、絵を描くことで3名の教員で役割分担をして作成しました。

材料 スケッチブック、色付け用のペン

洗濯ばさみで作ろう ミニアイス

【ねらい】

- ・手指の巧緻性
- ・両手の操作性
- ・色の弁別

【配慮点】

- ・洗濯ばさみの種類は、児童の実態に応じて選定する。
- ・アイスの段数を調整することで、課題の量を調整する。

【使い方】

- ・カラーフェルトの色とアイスの絵の色が一致するように、洗濯ばさみではさむ。

【その他】

- ・アイスの個数を数えたり、アイスの味を一緒に考えたりしながら楽しむこともできる。



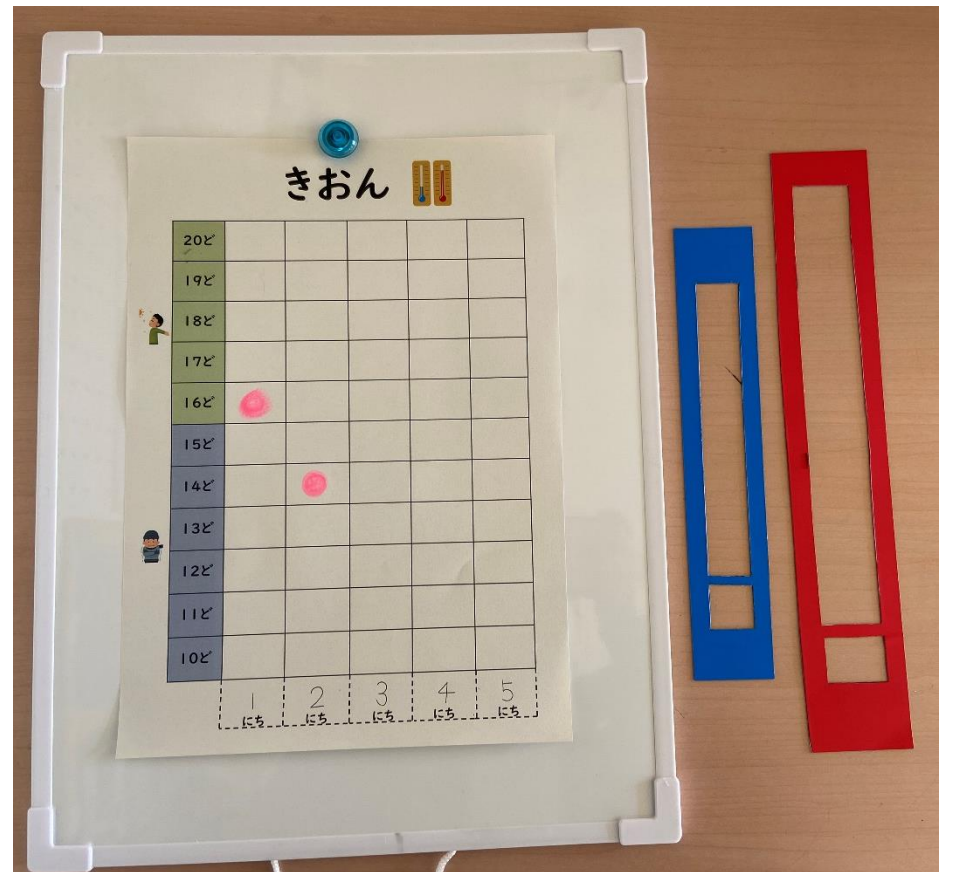
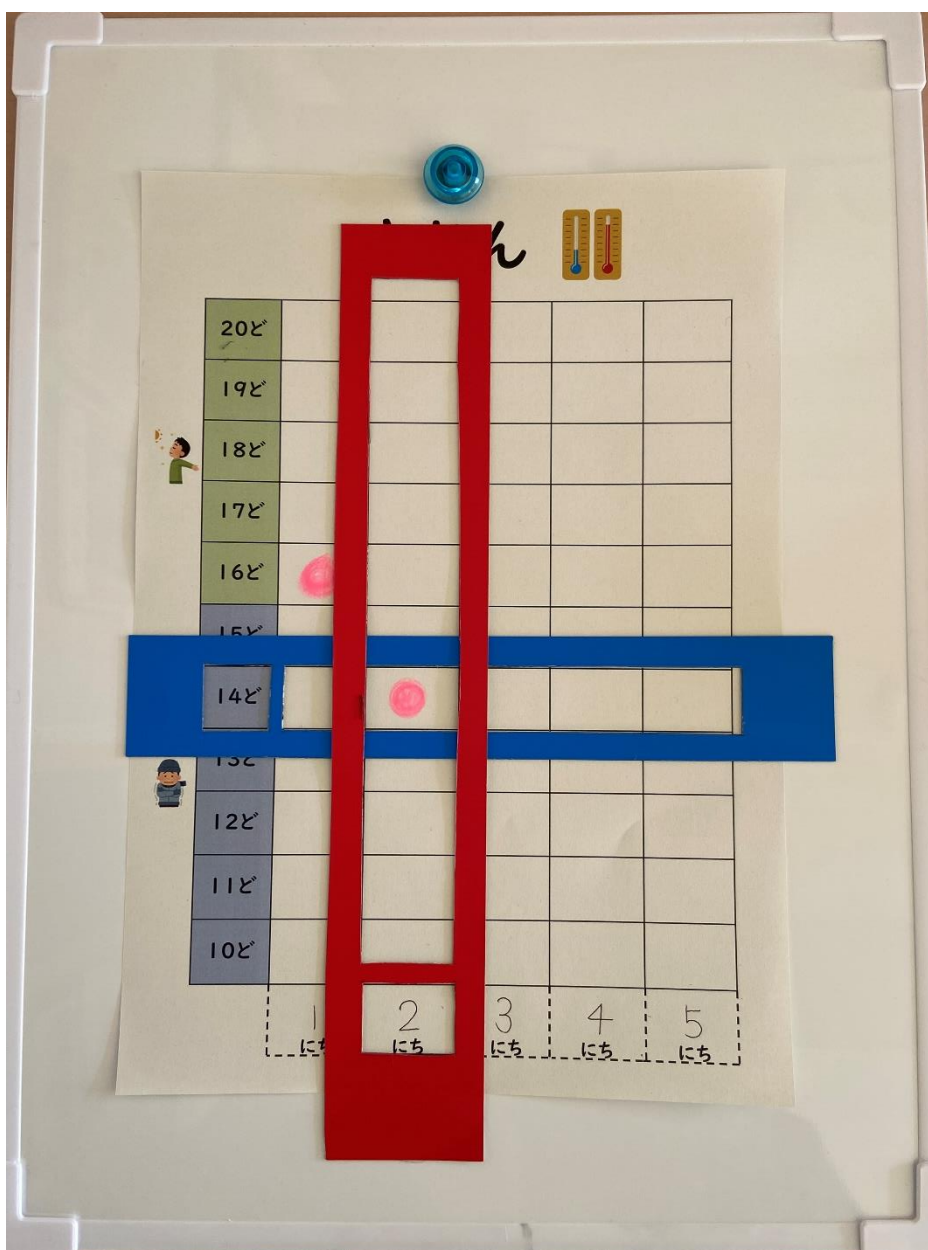
材料

- ・洗濯ばさみ
- ・カラーフェルトボール
- ・アイスクリームの絵

気温を確認して整理しよう

ねらい(幼児児童の目標)

- ・気温を計り、簡単な表に整理することができる。



- ・教材を作る際の配慮点
今日の気温や日付は分かるが、
升目をたどって書き込むことが
難しい児童への手立てとして
マグネットバーを作成した。
- ・使い方
気温は青、日付は赤のマグ
ネットを使用する。気温や日付を
確認し、下の四角に数字が入る
ようにマグネットを置いて、二つ
が重なる場所に書き込む。

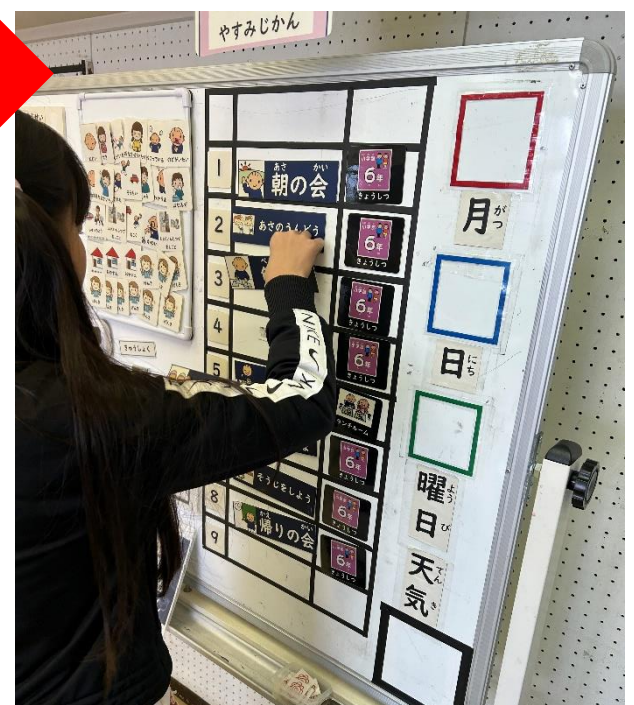
材料

マグネットシート、ホワイトボード、気温表、気温計

学級の予定表



週予定



一日の予定

ねらい(児童の目標)

- 一週間や一日の予定に見通しをもって取り組む。

- ホワイトボードを使い、授業時数に応じて枠を作って予定表にしました。学級通信の予定と週予定、一日の予定が連動するようにしました。

	にち げつ 22日 (月)	にち け 23日 (火)	にち す 24日 (水)
1	かばん・きがえ	かばん・きがえ	かばん・き
2	あさのかい	あさのかい	あさのか
3	あさのうんどう	あさのうんどう	あさのうん
4	べんぎょう	べんぎょう	べんぎょう
5	まつぎょうせいさく	おもちをつくらう	マラソン
6	きゅうしよく	きゅうしよく	きゅうし

学級通信

- 係の児童が週末に、学級通信の予定を見ながら週予定の授業カードを貼り直します。
- 毎日の登校後に、係の児童が一日の予定表に授業カードを移動させます。
- 朝の会でその日の予定を児童が読み上げ、何の授業があるかを確認します。

材料

ホワイトボード、厚紙、マグネット

ひらがな50音イラスト表 &ことばづくりカード

ねらい(児童の目標)

- ・平仮名とその文字の付く言葉のマッチングができる。
- ・イラストを見て、その言葉をカードで表すことができる。



- ・イラストは、生活に身近な物や使用する児童の興味関心の高そうな物を選んで作成した。
- ・50音表と言葉作りカードのイラストを対応させて、「雨の『あ』」や「たこの『た』」など、児童が覚えやすいようにした。
- ・文字カードをイラストに合わせて貼る。

材料

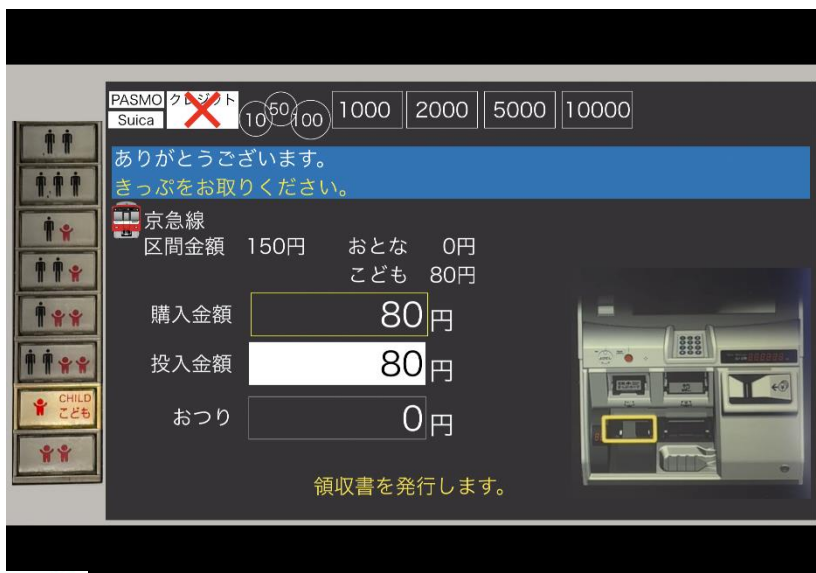
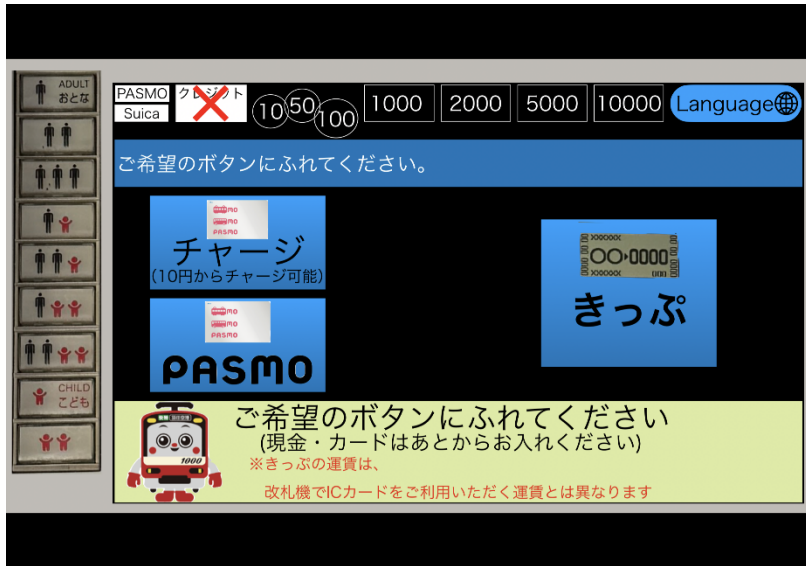
イラスト、文字、ラミネートフィルム

電車にのろう～切符の買い方～

(教科)いきいきタイム【生活単元学習】

ねらい

- ・切符の買い方を知り、自分で切符を買うことができる。



Point!

- ・本物の券売機に近い形で作成することで、実際に購入する際に戸惑いが少なく、購入することができた。
- ・切符も本物の切符と変わらない物を作成し、使用した。

- ・木材で模擬券売機を作成し、iPadと組み合わせたことで、よりリアリティーが増し、本番に生かすことができた。



材料

iPad、Keynote(iPadアプリ)



自分の予定表

ねらい

- ・自分で操作して、今日の予定を確認する。



- ・カードを収納しておく。

- ・今日の時間割を見て、カードを左側の枠の中に並べる。

- ・終わったカードは、右側の白いケースに入れる。



材料

ホワイトボードシート・マーカー、名刺入れ、写真アルバム、マスキングテープ、予定カード、マジックテープ、ケース

「すっぽーん」

やさいをしゅうかくしよう

ねらい(児童の目標)

- ・「やさいさん」のお話遊びで野菜を引っ張り、抜くことができる。
- ・畑での収穫に向けて、土から出ている葉を引っ張ると、土の中から野菜が出てくることが分かる。



工夫

- ・野菜ごとに葉の雰囲気を変え、楽しめるようにした。
- ・葉の部分に針金を入れて葉を自立させ、より実際に近い状況をつくり、引っ張りたくなるようにした。
- ・畑での収穫に向けて、引き抜く際に抵抗感をもたせるため、菊割れの排水口を使用した。実際の収穫でも諦めずに引き抜けば収穫できることが分かるように、細めですぐに抜ける野菜(ごぼう)と、力を入れて引っ張らないと抜けない太めの野菜(大根や人参など)を作り、難易度を変えた。
- ・教師と一対一でじっくり活動する児童向けに一つ穴のパネル、小集団で活動できる児童向けに三つ穴のパネルを作成した。

使い方

- ①絵本「やさいさん」(作:tupera tupera, 出版社:Gakken)の読み聞かせを行う。
- ②読み聞かせの流れで、「やさいさんやさいさんだ～れ？」の掛け声で葉を引っ張り、「すっぽーん。」の掛け声で野菜を抜く。

- ・発声がある場合には、「やさいさん～？」と「すっぽーん。」の発声を促す。
- ・発声が難しい場合は、児童の動きに合わせて、教師が「すっぽーん。」と言う。

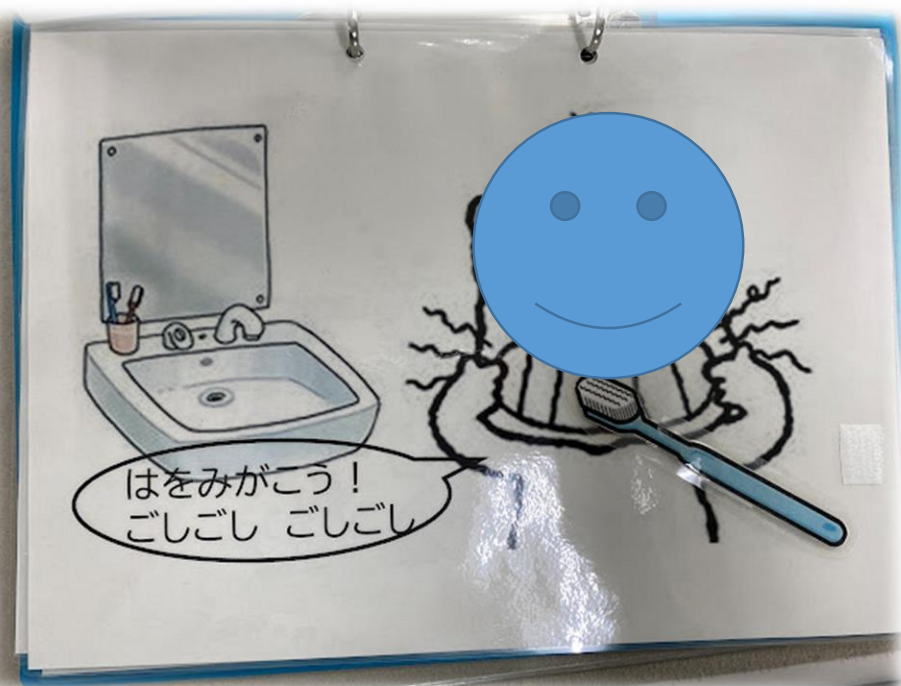
材料

- 【畑】ハレパネ・ラミネートした畑のイラスト・排水口蓋(菊割れ)・ラッカースプレー
- 【野菜】フェルト・綿・針金

物の名前を聞いて操作しよう

ねらい(児童の目標)

- ・児童が好きなキャラクターを使用し、普段使用している物の名称を聞いて、それをキャラクターに身に付けたり、操作したりしていくことで、物の名称の理解につなげる。



教材を作る際の配慮点

- ・本児がよく使う物、身に付けている物を扱うようにする。
- ・分かりやすいイラストを扱うようにする。
- ・イラストと実物のマッチングが行える物を扱うようにする。

材料 ラミネートフィルム、キャラクターや物のイラスト、ファイル、マジックテープ

あ～ん

一つずつたべさせよう



ねらい(児童の目標)

- ・ケースに物を入れて
一対一対応させる。

・使い方

初めは、口を開けておき、
入れたら蓋を閉めることで
同じケースに一つ以上入れ
ないことが分かるようにする。
・慣れてきたら蓋を開けて
入れて閉める一連の流れに
取り組むようにする。



材料

- ・マグネット付きケース
- ・ホワイトボード
- ・食べ物の模型